

平成30年度 防災会議 会議録

日 時	平成30年7月3日（火） 14:00～15:40
会 場	芦屋市役所東館3階 大会議室
出席者	<p>会長 芦屋市長 山中 健 委員 海上保安庁西宮海上保安署長 池本 武彦 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所長 田中 秀基 気象庁神戸地方気象台 次長 野澤 武志 兵庫県阪神南県民センター長 竹岡 嘉彦（代理） 兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所長 山田 裕司 兵庫県芦屋警察署長 伊藤 博文 芦屋市消防団長 岸野 雅信 関西電力株式会社兵庫支社担当部長（阪神南部） 渡辺 三千男 大阪ガス株式会社 兵庫導管部地域開発チームマネージャー 後藤 一則 西日本電信電話株式会社兵庫支店設備部長 山本 英夫（代理） 一般社団法人芦屋市医師会 会長 高 義雄 一般社団法人芦屋市歯科医師会 会長 上住 和也 一般社団法人芦屋市薬剤師会 会長 仁科 睦美 芦有ドライブウェイ株式会社 代表取締役社長 谷口 篤 芦屋市自主防災会連絡協議会 会長 竹内 安幸 陸上自衛隊第3師団第36普通科連隊 重迫撃砲中隊長 瀬戸 光俊 芦屋市婦人会 会長 戎井 恭子</p> <p>芦屋市 副市長 佐藤 徳治，教育長 福岡 憲助，技監 宇野 文章，企画部長 川原 智夏，総務部長 稗田 康晴，総務部参事 今道 雄介，市民生活部長 森田 昭弘，福祉部長 安達 昌宏，こども・健康部長 伊藤 浩一（代理），都市建設部長 辻 正彦，都市建設部参事 山城 勝，上下水道部長 古田 晴人，芦屋病院事務局長 阪元 靖司，消防長 小島 亮一</p> <p>事務局 防災安全課 課長 石濱 晃生，防災対策係長 島村 洋平 防災対策係 梶田 忠夫，塚田 亮，藤田 進</p>
会議の公表	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開</p> <p><非公開・部分公開とした場合の理由></p>
傍聴者数	0人

1 議題

芦屋市地域防災計画・水防計画の主な改定概要について

2 報告事項

- (1) 平成29年度 事業報告
- (2) 平成30年度 事業予定

3 情報提供

- (1) 国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所
 「最近の土砂災害と六甲山地の砂防事業」について
- (2) 陸上自衛隊第3師団 第36普通科連隊
 「災害派遣活動」について

4 会議内容

(会 長) それでは、議題「芦屋市地域防災計画・水防計画の主な改定概要について」を事務局から説明して下さい。

(事務局) (説明)

(会 長) ご意見、ご質問等はありませんか。

無いようですので、これをもちまして「芦屋市地域防災計画・水防計画の主な改定概要について」は、ご了承いただいたものとさせていただきます、審議を終了させていただきます。

続きまして、報告事項に移りますので、事務局から報告して下さい。

(事務局) では「報告事項」としまして、事務局より「平成29年度 事業報告」及び「平成30年度 事業予定」の報告をします。

(事務局) (報告)

(会 長) ご意見、ご質問等はありませんか。

(竹岡委員) 「平成30年度 事業予定」の地区防災計画及び要配慮者個別避難支援計画（以後「支援計画」）の策定について質問です。

芦屋市では、82団体のうち3団体が地区防災計画を策定し、支援計画の対象者3,300人のうち約3分の2が策定済みと報告されたが、各自主防災組織において、地区防災計画よりも支援計画の方が、策定が進んでいるという理解でよろしいですか。

また、要配慮者2,100人が属する25団体が、芦屋市から要配慮者名簿（以後「名簿」）を受け取って支援計画を策定しているとの事だが、地区防災計画は、これから策定すると考えてよろしいですか。

(事務局) 支援計画とは、要配慮者自身が、予め避難支援をお願いする人を決めている、もしくは、日頃の見守りの中で支援を必要とされる方に対して、民生委員やご近所の方、自治会役員等をマッチングしている要配慮者数が2,100人ということです。

名簿の受領とは、東日本大震災で要配慮者の避難支援に対して、公助が行き届かなかった状況を踏まえ、地域の方が、学校区や各自治会（芦屋市は自治会を対象）に居住する要配慮者の方に避難支援をする際、必要とする情報を地域で共有するため、日頃からもそうですし、名簿を受け取っていただくことで、顔の見える関係を築いていただく趣旨です。

支援計画と名簿の受領は別物であり、25団体が名簿を受領しています。

地区防災計画には、要配慮者の支援も含まれており、学校区や各自治会の中で、いざ地震が起きた際に、自分はどのような行動をするか、地域としてどのような行動をとるかということを予め決めておこうという計画です。

(竹岡委員) 地区防災計画を策定した自主防災組織は、名簿を受領して、要配慮者の情報を知ったうえで、要配慮者への避難支援を近隣の方たちが個別に対応するという理解でよろしいですか。

(事務局) その通りです。

(会 長) 他にございませんでしょうか。無いようでございますので、これをもちまして、報告を終了させていただきます。本日は、議事進行にご協力いただき誠にありがとうございました。では、事務局へお返しします。

(事務局) それでは続きまして、「情報提供」としまして、近畿地方整備局六甲砂防事務所様から「最近の土砂災害と六甲山地の砂防事業」につきまして、ご報告がございます。

(田中委員) (説明)

(事務局) 続きまして、陸上自衛隊第3師団 第36普通科連隊様から「災害派遣活動」につきまして、ご報告がございます。

(瀬戸委員) (説明)

(事務局) 最後に、その他といたしまして、本日の会議にご出席の皆様から連絡事項等はありませんか。

(野澤委員) 2点あります。

1点目は、大阪北部を震源とする地震の件です。

地震の発生数は減少したが、未だに震度3の余震が発生しており、落ち着かない状況は続き、地震活動は依然活発であることを示しています。

今回の震源地には、有馬高槻断層帯、生駒断層帯、上町断層帯等、複数の活動断層帯が近くにあり、その活動を刺激することに留意が必要です。

日本国内のどこでも地震が発生してもおかしくないので、日頃から地震への備えを心掛けてもらいたいです。

2点目は、今夜からしばらく続く大雨の件です。

80年前の7月3日～5日に発生した「阪神大水害」では、累積雨量が六甲山植物園で600ミリ、神戸气象台で460.8ミリを記録しました。

今後は、兵庫県東南部の多い所で4日(水)0時～24時 150ミリ
5日(木)0時～24時 100～150ミリ 6日(金)以降24時間で100～200ミリを予想しています。

この降水量が同じ場所で降り続くと大災害につながりますので、今後の気象情報に十分警戒して下さい。

(竹内委員) 要望です。自治会も芦屋市の防災を担っていると考えられ、また、名簿の受領も25団体しか行っていないことから、自治会の代表も防災会議に参加してもらいたい。

(事務局) その他にございませんか。

無いようですので、以上をもちまして、平成30年度芦屋市防災会議を閉会します。

閉会